

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
		※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	ワシントン大学 (国名:アメリカ)	
留学先学部名(またはプログラム名)	Exchange Program, Art & Science	
留学期間	2011 年 9 月 ~ 2012 年 6 月	
学部/学府・年次	工学府	修士 1 年次~ 修士 2 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	①・無 (期間: 1 年間)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入) 大学院での研究や就職活動を十分に行うため.	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?		
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()年 ()月から) 2. 大学院進学(大学 学府/研究科) ③. その他(九大で修士号を取得した後, 学位留学を考えている.)	
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	良い影響を及ぼすと思う。	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?		
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	<p>交換留学生は必修科目などの制限は一切なく、自分が興味のある授業を自由に受講できる。大学が提供している授業の分野は幅広い。交換留学生の中には、演劇や音楽(ゴスペルやオーケストラ)の授業をとっている人もいた。自分の場合は専門である航空宇宙工学の授業を主に受講していた。英語の授業の数は多くはないが、ライティングのための授業はいろいろあり、英語力の向上に役立つと思う。</p> <p>ただ、履修登録には苦労した。交換留学生の履修登録は正規の学生の後になるため、人気の高い授業は受講できない恐れがある。その場合には、事前に教員や学部のアドバイザーにコンタクトを取り、席を空けておいてもらうことが必要となる。また、専門性の高い授業では事前に履修しておくべき授業(prerequisite という)が指定されていることが多いが、交渉次第で受講させてくれる場合も多い。日本で取得した成績書を持参して相談に行くといふ。</p>	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>言語面：世界中から留学生がたくさん来ているため、サポートは充実している。言語面で不自由することは特になかった。また、writing center での添削や、言語を教えあう language partner 制度など英語の学習に役立つものがいろいろ提供されている。</p> <p>勉学面：TA のサポートがしっかりしていて、授業や宿題の分からないところを相談しに行くことができる。概して献身的な TA が多いと思う。また、どの授業もオフィスアワーが明確に決められており、直接先生に質問に行くことができるので積極的に利用すれば勉強が捗ると思う。図書館はたくさんあり、夜遅くまであいているので勉強する場所には困らない。</p> <p>その他：とても大きな大学なので、探せば必ずどこかに相談できる担当者がいる。サポートが必要であれば躊躇せず、短いメールを送ってみるなどして気軽に相談するとよい。アメリカではなんでも聞いてみるという姿勢が大切である。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>ワシントン大学を選んで本当によかったと思っている。受講した授業はどれも素晴らしく、勉強する環境としては最高だった。授業は大変だが、しっかり勉強したいという人にとっては良い留学先である。</p> <p>ただ、日本人の学生の数は多かった。UW へ留学してくるいろいろなプログラムがあるらしく、たくさんの日本からの留学生がキャンパスにいた。もちろん良い面もあるが、それを好まないという人にとっては憂慮すべき点だと思う。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>勉強は大変だと覚悟しておいたほうがいい。どの授業も総じて九大の講義よりもかなり大変だという印象を受けた。私の場合は、長期休暇以外は勉強が中心の生活だった。宿題が多く、週末も勉強に充てるが多かった。</p> <p>また UW だけでなく英語圏の大学に留学する人は、留学するまでに英語をしっかりと勉強しておくことをお勧めする。私はアメリカに着いてから、自分の英語力の不十分さを痛感した。TOEFL のスコアを取得した後も英語の勉強を継続しておくこと現地に行ってから非常に楽になると思う。</p>
-------------------------------	--

2. 事前手続き(ビザ申請など)

<p>ビザの種類</p>	<p>F-1</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>東京アメリカ大使館</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>必要書類: I-20(受け入れ決定後に大学から送られてくる), 顔写真など. 詳しくは大使館のウェブサイトを参照.</p> <p>方法: インターネットからさまざまな情報の入力を行う(かなり面倒くさい). その後, 面接を大使館または領事館に受けに行く. 書類に不備がなければ面接後, 2 週間以内にビザが郵送されてくる.</p> <p>ビザはもっとも大事な書類であり, 取得にも時間がかかるので早めの準備をお勧めする. 福岡の領事館でもビザの面接は行われているが, キャンパシティーが小さいためすぐに予約でいっぱいになってしまう. その時は大阪か東京などに行かないといけなくなるので, やはり早めの準備が大切である.</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>2~3 週間.</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>はしかの予防接種をしたという証明を UW へ送らなければならない.</p>

3. 日常生活

<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>月曜から金曜はたいてい朝9時から夜10時くらいまではキャンパスにいて、授業を受けるか図書館で勉強するかの日々だった。 IMA という立派な運動施設を無料で利用できる。気分転換にジョギングや水泳をしに行った。 ご飯はずっと外食で、日本よりも値段は高かった。反面、コーヒーは安い。 シアトルの冬は天気が悪い日が多く、日も短いので、気分は沈みがちになるかもしれない。 街並みが美しく、気晴らしにジョギングなどをすると気持ちが良かった。</p>
<p>生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)</p>	<p>生活費計 11万 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費:6万 円、光熱水料: 住居費に含まれる、通学費:0円、食費: 5万 円、電話代: 2千円、インターネット代: 住居費に含まれる、書籍代: 1学期につき1万円ほど。 その他:(具体的に)</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円 (徴収された費用の名目を具体的に:)</p>
<p>日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)</p>	<p>ノートパソコンは必須アイテム。変圧器は不要である。 なにかのスポーツや楽器ができる人はその道具を持っていくと現地での友達づくりに役に立つと思う。</p>
<p>これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス</p>	<p>やはり治安はあまり良くない。2週間に1回程度の頻度で強奪などの事件がキャンパス内で起こっていた。夜遅くの独り歩きは危険である。また、図書館などでの盗難は特に多いので、日本にいる時よりも意識的に気をつけておく必要がある。 ワシントン州の ID を作ると、パスポートを持ち歩かずに済むので便利である。お酒の購入は日本よりも厳格で、必ず ID を見せなければならない。 大変な授業ばかりとると生活のほとんどを勉強に使わないといけなくなる。自分の留学の目標に合わせて計画的に授業を組むといいと思う。</p>
<p>お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。</p>	<p>現地で口座を開設し、日本から送金してもらった。 クレジットカードは、1枚は必ず持つておくべきである。</p>
<p>4. 住居、生活環境</p>	

住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	3801 Brooklyn Avenue, NE, Stevens Court, Seattle, WA,, USA.	
費用(月額)	月 6 万.	
どのようにして見つけたか	UW への受け入れが決まった後, UW の交換留学の担当者から案内のメールがきた.	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	お勧めする。大学の寮なので安心できるし学校にも近い。また友達も作りやすい。	
留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	秋学期が始まる直前の 2 週間だけホームステイをするプログラムを UW の FIUTS という団体が提供している。これは本当にお勧めである。	
5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント
facebook		
6. その他の特記事項		